

令和6年度 人権教育研究推進事業 <人権教育研究指定校事業>

都道府県・
指定都市名

大阪府

学校名

大阪府立大阪わかば高等学校

人権課題

障害者・外国人

対象学年・教科

全年次
総合的な探究の時間

時数等

3時間

目標・人権教育
のねらい

手話によるパフォーマンスや体験活動を通して手話でのコミュニケーションについて理解を深め、言語や文化などの違いを超えて楽しむ時間を経験する。(6/12実施)

実施した内容

手話エンターテイメント発信団*OiOi* (オイオイ) のお二人を招き、体育館で手話の基礎をいくつかを学び、一緒に身体を動かしながら手話によるコミュニケーションを体験し、共に通じ合うことを学ぶ。

また、手話エンターテイメントをとおして「きこえる」人と「きこえない」人との間にあるバリアをなくすことをめざす。

工夫した点

基礎的な手話を学び、*OiOi*さん自作の「ダイジョーブ音頭」を一緒に踊ることで、楽しみながら手話によるコミュニケーションを体験しその楽しさを共有する。

令和 6 年度 人権教育研究推進事業 <人権教育研究指定校事業>

他教科との
関連

人権学習の年間計画を意識して、個々の人権課題を網羅して人権感覚を養うベースとした。

事業成果

【知識的側面】

- ・手話の理解が深まった。知識が増えた。
- ・いろいろなことを伝えることができるのだと思った。
- ・手話は難しくて覚えるのが大変だと思っていたが、とても楽しく覚えることができ、コミュニケーションの幅を広げ様々な人と会話をできるものだと知った。

【価値、態度的側面】

Q. 手話に対するイメージは変わりましたか？：「変わった」73%

- ・覚えたら会話がもっと楽しそうだった。
- ・言葉がなくても楽しもうとするだけで楽しむことができた。
- ・会話をするための手段だと思っていたが、一緒に楽しむものだと認識になった。
- ・手話でコミュニケーションがもっと楽しくなると思った。

【技能的側面】

- ・手話であいさつができるようになった。
- ・手話は難しそうだと思っていたが音楽に合わせたら意外と簡単に覚えられる気がした。
- ・難しいイメージがあったけど、笑顔とか分かりやすく表情でも伝えられるから面白いと感じた。

○学校教育自己診断結果（生徒アンケートより）

「人権について学ぶ機会がある」

R4 / 76.7% ⇒ R5 / 91.9% ⇒ R6 / () % （目標値83%以上）

令和6年度 人権教育研究推進事業 <人権教育研究指定校事業>

都道府県・
指定都市名

大阪府

学校名

大阪府立大阪わかば高等学校

人権課題

障害者

対象学年・教科

全年次
総合的な探究の時間

時数等

3時間

目標・人権教育
のねらい

人権学習「共生社会について～自分らしく生きるために～」(7/10実施)
社会の中で自分らしく生きようとしているゲストの方のお話を聴き、一人ひとりが自分らしく生きるためにはどうすればいいかを考える機会をもつ。

実施した内容

- 【テーマ】「自分らしく生きるために」
- ・各人権課題における当事者等のゲストの方々を招いてそれぞれのお話を聞く。
 - ① トランスジェンダー当事者として
 - ② 大阪教育大学フラワーのみなさん(性の多様性を考える)
 - ③④ わかばカフェスタッフ(高校生の支援者としてひきこもり、不登校を考える)
 - ⑤ 家族・学校・職場で生きづらさを抱えて
 - ⑥⑦ 多文化理解(当事者として)
 - ⑧⑨⑩ 障がいについて(当事者として)
 - ⑪⑫ 卒業後の進路について(勝山高校・大阪わかば高校卒業生)
 - ⑬⑭⑮ 言葉の壁について(中国語、ネパール語、英語を母語として)

工夫した点

- ・昨年と同様の人権学習を実施。3年間を通して多角的観点から考えられるようにした。
 - ・人権学習講演に向け、事前に各人権課題について学びを深め、受講させた。
 - ・生徒は事前学習を受けた上で、自らの課題や関心に合うよう受講希望するテーマを記入させ、選択できるようにした。
- A ジェンダーについて①② B 生きづらさを抱えて③④⑤ C 多文化共生についてC⑥⑦
D 障がいについて⑧⑨⑩ E 将来への不安⑪⑫ F 言葉の壁⑬⑭⑮

令和 6 年度 人権教育研究推進事業 <人権教育研究指定校事業>

他教科との
関連

人権学習の年間計画を意識して、個々の人権課題を網羅して人権感覚を養うベースとした。

事業成果

【知識的側面】

- Q. 今日の人権LHRを受けて、大切だと思ったこと、心にのこったこと、感じたこと
- ・ 元々支援学校の教師になりたいと思っていたので、いい経験になりました。
 - ・ 自分も軽度の障がいをもっているのととても勉強になりました。

【価値、態度的側面】

- Q. すべての人が「自分らしく生きる」ために、何が重要だと思いますか？
- ・ だれでも身体的精神的に違いがあり、その強弱もそれぞれで、自分とどこが違うか理解することが大切だと思った。
 - ・ 社会によって「壁」ができているということを知り、気づいた。

【技能的側面】

- Q. すべての人が「自分らしく生きる」ために、あなたはどのようなことができますか？
- ・ 障がいをもった人にどう助けたり接したらいいのか、自分にできることは何かしようと思った。

○学校教育自己診断結果（生徒アンケートより）

「人権について学ぶ機会がある」

R4 /76.7% ⇒ R5 /91.9% ⇒ R6 //93.3%（目標値83%以上）

令和 6 年度 人権教育研究推進事業 <人権教育研究指定校事業>

都道府県・
指定都市名

大阪府

学校名

大阪府立大阪わかば高等学校

人権課題

同和問題

対象学年・教科

2 年次以上
総合的な探究の時間

時数等

2 時間

目標・人権教育
のねらい

同和問題（部落差別）についての知識を正しく理解し、自分の身の周りにある偏見に気づく機会とする。また、自分自身も持っている偏見に気づく契機とし、差別のない社会を構築するために何ができるか考える態度を養う。

実施した内容

【テーマ】「福田村事件から学ぶ」

- ・ 約100年前の関東大震災直後に起きた東京での行商団が虐殺された「福田村事件」を題材として、なぜそのような事件が起きたのかの背景や原因について理解を深める。
- ・ 同時に、同和問題とは何かについてワークシートで理解を深める。
- ・ 100年前の出来事と現在身の回りで起きていることを比較し、共通点を見つける。
- ・ 被害者にも加害者にもならないためにどのように行動するか考える。

工夫した点

- ・ 同和問題の知識が全くない生徒もいるので、初めから丁寧に伝えた。
- ・ プリントにルビ、スライドに英語を付けたり、日本語指導が必要な生徒への配慮を行った。
- ・ ニュース番組の動画やニュースサイトなど最近の報道記事等を資料として生徒たちにより理解を深める工夫をした。
- ・ 生徒どうしで話し合う時間や考える時間を設けるなど、教員から生徒に質問しながらインターラクティブな授業形態で行った。

令和 6 年度 人権教育研究推進事業 <人権教育研究指定校事業>

他教科との
関連

地歴公民にて、基本的人権について学習した。その際には、総合的な探究の時間での人権学習の年間計画を意識して、個々の人権課題に触れながら人権感覚を養うベースとした。

事業成果

Q.あなたが今日、知ったこと、学んだこと、もっと知りたい、大切にしようと思ったことを書いてください。（授業での振り返りシートより）

【知識的側面】

- ・こんな事件があったことを初めて知りました。今回知ることができてよかったと思いました。
- ・部落差別による酷さを知ることができた。
- ・人の愚かさについて改めて考えました。
- ・たくさんのことを学びました。日本だけでなく世界でも昔から差別はあります。

【価値、態度的側面】

- ・何があっても差別は許されないと考えた。
- ・そこに住んでいるだけで排除されたりするのはよくないと思った。
- ・身勝手な妄想や独り歩きした話を鵜呑みにして他者に害をなすような発言を控えないといけない。

【技能的側面】

- ・差別のなくし方について考えないと思いました。
- ・差別する側に関わらない。

○学校教育自己診断結果（生徒アンケートより）

「人権について学ぶ機会がある」

R4 /76.7% ⇒ R5 /91.9% ⇒ R6 //93.3%（目標値83%以上）

令和 6 年度 人権教育研究推進事業 <人権教育研究指定校事業>

都道府県・
指定都市名

大阪府

学校名

大阪府立大阪わかば高等学校

人権課題

北朝鮮当局による
拉致問題等

対象学年・教科

1 年次
総合的な探究の時間

時数等

2 時間

目標・人権教育
のねらい

日本と朝鮮半島との歴史的経過や関係を理解しながら、第二次世界大戦後の冷戦構造を理解し、拉致問題の背景を理解するとともに、拉致問題は重大な人権侵害であることの認識を深め、早期解決と拉致問題を許さない心を育む。

実施した内容

【テーマ】「共生の未来へ」～アニメ「めぐみ」を観て

- ・生野区の 코리아タウンを契機に日本と朝鮮半島の歴史を伝える。
- ・日本と朝鮮半島の現在のつながりを考える。（歴史、文化交流、政治的関係）
- ・アニメ「めぐみ」の視聴
- ・アニメの中の母親のことばから当事者の思いを理解する。

工夫した点

- ・本校が位置する大阪市生野区の 코리아タウンなど身近な話題について触れた。
- ・事前学習としてスライドやプリントを用いて歴史的経過や関係などをわかりやすく説明して理解させた後、アニメ「めぐみ」を視聴することにより生徒の理解を深めた。
- ・どうしたら解決に向かうか、国同士が手を取り合えるかなどをワークシートや話し合いの時間を設け、考えさせた。

令和6年度 人権教育研究推進事業 <人権教育研究指定校事業>

他教科との
関連

地歴公民で国際関係や基本的人権について学習した。総合的な探究の時間での人権学習の年間計画を意識して、個々の人権課題に触れながら人権感覚を養うベースとした。

事業成果

【知識的側面】

Q.「共生の未来へ」を学んで感じたことや気になること、意見・感想を教えてください。

- ・お互いのことを知ることが大切だと思った。
- ・なぜ拉致問題が起こってしまったのか改めて知ることができました。
- ・拉致は誰も幸せにしないということが改めてわかりました。
- ・まだ拉致問題が続いているとしたら本当になくなってほしい。

【価値、態度的側面】

Q.どうすれば仲良く平和な未来が作れると思いますか？

国や政府にやってもらいたいことはどのようなことでしょうか？

- ・これが本当に実際に起きたしまったことというのが本当に信じられない。信じたくもない。
- ・もし自分があるいは身内の問題だと思うと絶望は図りしれないと思った。
- ・すぐに解決しないといけない問題だと思った。
- ・拉致された人は何があっても助けるべきだと思う。

【技能的側面】

Q.どうすれば仲良く平和な未来が作れると思いますか？私たちができることは何だと思いますか？

- ・わかり合うために私にできることは隣人と仲良くすることくらいしかない。
- ・人権は奪うものではなく尊重するべきものだと思った。

○学校教育自己診断結果（生徒アンケートより）

「人権について学ぶ機会がある」

R4 /76.7% ⇒ R5 /91.9% ⇒ R6 //93.3%（目標値83%以上）

令和6年度 人権教育研究推進事業 <人権教育研究指定校事業>

都道府県・
指定都市名

大阪府

学校名

大阪府立大阪わかば高等学校

人権課題

性的指向・性自認

対象学年・教科

全年次
総合的な探究の時間

時数等

3時間

目標・人権教育
のねらい

人権学習「共生社会について～自分らしく生きるために～」(7/10実施)
社会の中で自分らしく生きようとしているゲストの方のお話を聴き、一人ひとりが自分らしく生きるためにはどうすればいいかを考える機会をもつ。

実施した内容

- 【テーマ】「自分らしく生きるために」**
- ・各人権課題における当事者等のゲストの方々を招いてそれぞれのお話を聞く。
 - ① トランスジェンダー当事者として
 - ② 大阪教育大学フラワーのみなさん(性の多様性を考える)
 - ③④ わかばカフェスタッフ(高校生の支援者としてひきこもり、不登校を考える)
 - ⑤ 家族・学校・職場で生きづらさを抱えて
 - ⑥⑦ 多文化理解(当事者として)
 - ⑧⑨⑩ 障がいについて(当事者として)
 - ⑪⑫ 卒業後の進路について(勝山高校・大阪わかば高校卒業生)
 - ⑬⑭⑮ 言葉の壁について(中国語、ネパール語、英語を母語として)

工夫した点

- ・昨年と同様の人権学習を実施。3年間を通して多角的観点から考えられるようにした。
 - ・人権学習講演に向け、事前に各人権課題について学びを深め、受講させた。
 - ・生徒は事前学習を受けた上で、自らの課題や関心に合うよう受講希望するテーマを記入させ、選択できるようにした。
- A ジェンダーについて①② B 生きづらさを抱えて③④⑤ C 多文化共生についてC⑥⑦
D 障がいについて⑧⑨⑩ E 将来への不安⑪⑫ F 言葉の壁⑬⑭⑮

令和6年度 人権教育研究推進事業 <人権教育研究指定校事業>

他教科との
関連

人権学習の年間計画を意識して、個々の人権課題を網羅して人権感覚を養うベースとした。

事業成果

【知識的側面】

- Q. 今日の人権LHRを受けて、大切だと思ったこと、心にのこったこと、感じたこと
- ・ 何気ない言葉遣いに気をつけること。
 - ・ 外見だけでなく多様な人がいるということ。
 - ・ LGBTのことが理解できた。

【価値、態度的側面】

- Q. すべての人が「自分らしく生きる」ために、何が重要だと思いますか？
- ・ 自分は何ものでどのようになりたいか考える機会になった。
 - ・ 講師の方がみなさん自信があって素晴らしいと思った。
 - ・ 差別することなく受け入れることが重要だと思った。
 - ・ まずは認めてくれる人にはカミングアウトすることはいいかなと思った。

【技能的側面】

- Q. すべての人が「自分らしく生きる」ために、あなたはどのようなことができますか？
- ・ 一人の人間として接することが大切だと思った。

○学校教育自己診断結果（生徒アンケートより）

「人権について学ぶ機会がある」

R4 /76.7% ⇒ R5 /91.9% ⇒ R6 //93.3% （目標値83%以上）